

審査員からのコメント

【岸本葉子さん・エッセイスト】

展示品の中の一通の手紙に着眼し、それを入口にした構成力が素晴らしい。ごくふつうに交わされる挨拶文のような手紙から、背景にある歴史とその時代に生きた人々の苦しみや葛藤に思いをいたす理解力、それを伝える文章力にも目を見張るものがあります。過去の悲劇に終わらせず、現代にもひそむ危機ととらえ、今を生きる私たちがなすべきことや民主主義の価値にまで、考えが及んでいます。

【関沢まゆみさん・国立歴史民俗博物館教授】

「歴史から学ぶということ」は、兵士の家族に宛てた手紙の「いつまでも、いつまでも、お元気で」という言葉が永遠の別れの言葉であることを考え、「若くして命を落としていった」特攻隊の若者たちの手記の展示から、特攻という組織と個人の意思との関係について分析をしています。そして、「平和は努力しなければ、維持できない」と述べ、過去の歴史に学ぶことの大切さを指摘しているところが良かったと思いました。

【伍藤忠春・昭和館館長】

平和や自由の大切さとそれを守ることの大変さに深く思いを寄せ、その上で歴史から学ぶことの重要性和国の進路を誤らないための民主主義の重要性にふれており、視野の広さを感じます。